

浴室安全床シート あんから・あんからプラス 物件用

施工説明書

このたびは、フクビ「浴室安全床シート あんから・あんからプラス」をお買い上げくださりまして有難うございました。下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

⚠️注意 下地に関して

- この浴室リフォーム工法は、躯体への漏水を防ぐことを目的とするものではありません。
- 対応下地**：タイル、FRP、コンクリート、モルタル
- 物件への施工ではコンクリート、モルタル下地へも施工可としております。
(下地の十分な乾燥時間がとれ、かつ施工業者が水分計を持っているため)
- 乾燥度の確認は以下の基準に従いしっかり行ってください。
- 下地の乾燥度は施工上もっとも重要です。床面の乾燥は施工前に充分に行ってください。下地の乾燥が不十分の状態ですと、はがれや浮きの原因になります。

《水分計を使用したコンクリート・モルタル乾燥度の確認方法(DMODE)》

- **HI-520-2、HI-520型** 620未満
- **HI-500型** 690未満

- 床面から躯体への漏水がないか確認してください。漏水がある場合は補修を行い、このリフォーム工法の施工前に漏水がないようにしてください。
- 表面強度が強く、床面が汚れていない事が重要です。
- タイルが割れているなどの下地の状態が悪い場合には、下地調整材で下地の調整を行ってください。下地調整材使用の際は、その施工説明書に沿って使用ください。
- 下地の水勾配は排水口に向かい2/100~3/100に調整してください。

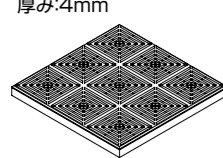
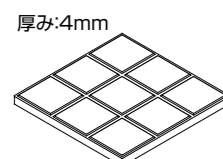
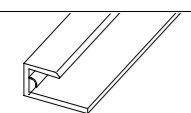
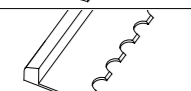
⚠️注意 施工できない下地

- 防水が確保できない床面には、施工できません。
- 排水口廻りの水勾配が1/30以上の場合は施工できません。
- 腐食している床には施工できません。

⚠️注意 施工に関して

- 施工の前には接着剤容器記載の注意をよく読んで安全に取り扱ってください。
- 施工時の温度条件に関して、気温の低い条件では接着剤やシーリング材の硬化に時間がかかりますので、室温を上げて施工を行ってください。
- シート裏面や内部へ水が浸透しないよう末端処理やシーリング処理は確実に実施してください。
- 施工説明書を参照の上で施工を実施してください。
- 5℃以下**では施工を実施しないでください。
- シートの継ぎ目にはシーリング材は使わず、必ずシーム剤を施工してください。
- シーム剤に付属の施工要領に従い、正しく施工してください。

■部材の名称

部材	形状	規格
本体 あんから	厚み:4mm 	巾1,800mm x10m巻
本体 あんからプラス	厚み:4mm 	巾1,800mm x10m巻
あんから用 見切		2,450mm
あんから用 小口隠し見切R		2,000mm

■推奨接着剤・シーム剤

《接着剤詳細》

- メーカー：アイカ工業株式会社
- 品名：EX410
- 性状：2液エポキシ系接着剤

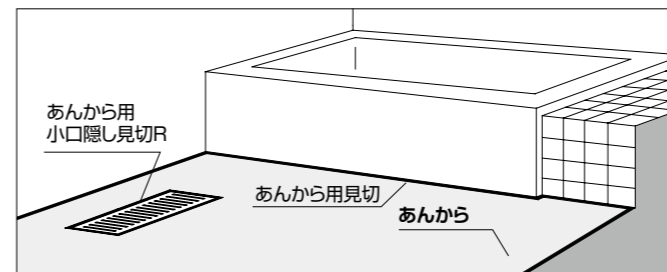
《シーム剤詳細》

- メーカー：極東産機株式会社
- 品名：コールドシームA
- 性状：1液シーム剤

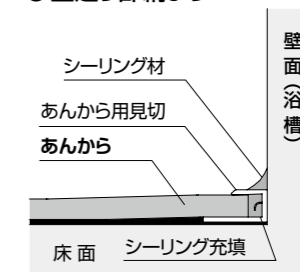
※「あんからプラス」をご使用の場合、「あんから」表記部分を適宜お読み替えください。

■各部の参考納まり図

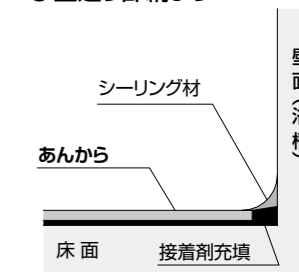
●床材のみ施工時の全体納まり例



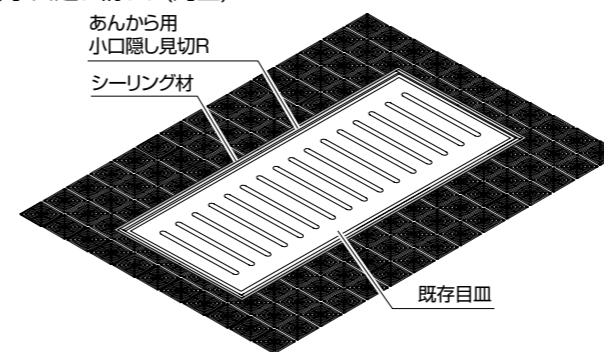
●壁廻り部納まり



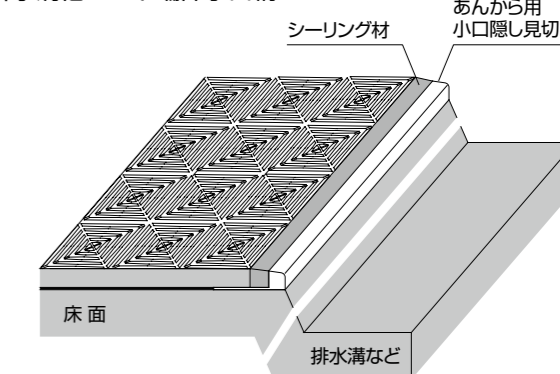
●壁廻り部納まり



●排水口廻り納まり(角型)



●排水溝他 シート端部小口納め



※シーリングを現地調達する場合には防カビ剤入り変成シリコンを使用してください。

※床シートの端部と壁際に接着剤・シーリング材を充填する際には、空隙ができないように充填してください。

■施工の流れ

※事前準備は施工の前日までに終了してください。

①下地の確認と準備をする。

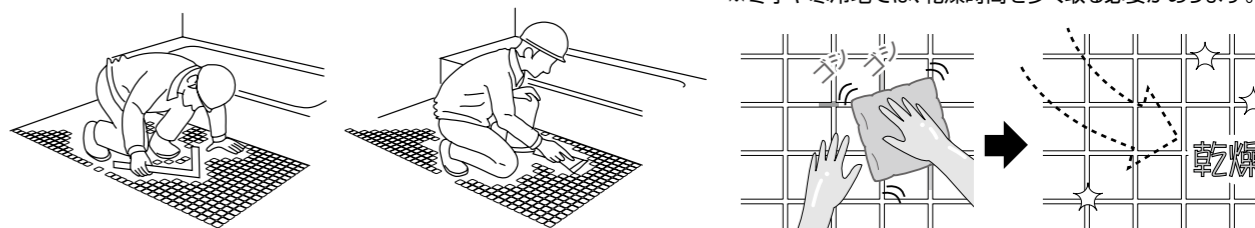
施工の前に以下を確認し、必要に応じて補修を完了させてください。

- 水漏れの確認** ⇒床から躯体への水漏れがないか確認してください。
- 床の凹凸の確認**⇒床面に水溜りが出来るような凹みなど、大きな凹凸がないか確認してください。
- 下地の確認** ⇒タイルが割れているなど下地の状態が悪い場合には、下地調整材などで下地の調整を行ってください。

②床下地の清掃

- 浴室用中性洗剤で汚れを丁寧に洗い落とし、カビが発生している部分はカビ除去用の専用洗剤で取り除いてください。
- ※汚れたままでは、接着剤の接着力が充分発揮できません。
- ※清掃後は施工面を完全に乾燥させてください。
- 施工時に万が一濡れている箇所があれば、タオルやドライヤーなどを用いて乾燥させてください。
- ※冬季や寒冷地では、乾燥時間を多く取る必要があります。

※事前準備



床面施工

1 床面の型取り・シート裁断

- 1-1. 専用部材のカット
- 1-2. 床面の型取り
- 1-3. 床シートの裁断
- 1-4. 床シートの仮置き

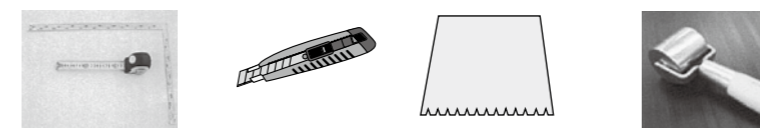
2 床シートの接着

- 2-1. 床面への接着剤塗布
- 2-2. 貼付可能時間の厳守
- 2-3. 床面への圧着
- 2-4. シート継ぎ目処理・シーリング処理

3 床面の養生

■使用工具一覧

- 採寸用スケール・金尺
- カッター
- くし目ゴテ(付属品)
- 床用ローラー



※「あんからプラス」をご使用の場合、「あんから」表記部分を適宜読み替えてください。

■ 施工手順

1 床面の型取り・シート裁断

1-1. 専用部材のカット

①専用部材のカット

- 見切材を使用する場合にはシートの型取りをする前に床面の大きさに合わせてカットしてください。

1-2. 床面の型取り

①浴室の寸法取り・割り付け

- シートに接合部が生じる場合、割り付けは左右対称にしてください。壁際には50mm以下の端物を入れないでください。シート接合部分が少なくなるように割り付けしてください。

②排水口の寸法と位置出し

●あんから用小口隠し見切Rで角型排水口を納める場合

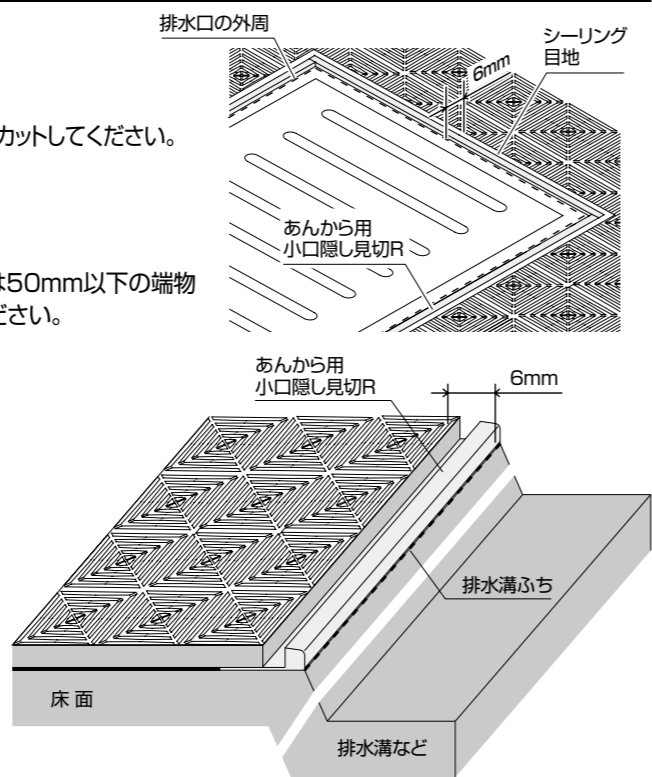
排水口の型は排水溝の縁の外周の外側6mmの位置で取ってください。

●三角シーリングで目皿周りを納める場合

排水口の型は排水口の縁の外周で取ってください。

③シート外周部の型取り

- シート外周部をあんから用見切で納める場合には、壁際から3mm程度小さくなるように型取りを行ってください。
- 三角シーリングで外周部を納める場合には、壁際から5mm程度小さくなるように型取りを行ってください。
- 排水溝部をあんから用小口隠し見切Rで納める場合には、排水溝手前の縁から6mm程度小さくなるように型取りを行ってください。

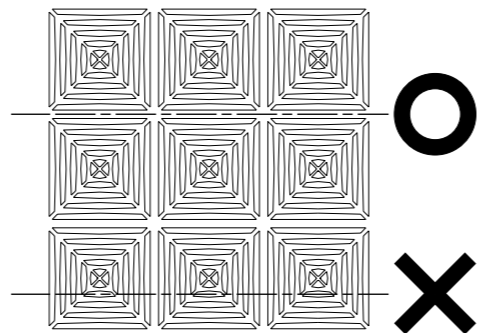


△ 注意 ●あんから用小口隠し見切Rは、局所的に荷重がかかる部位への施工を避けてください。変形や割れが生じる可能性があります。

1-3. 床シートの裁断

- 割付後に2~3回のカットで正確に切り込んでください。
- シート接合箇所はシートの表面の凹凸を避け、凹部の平らな部分になるようにしてください。

△ 注意 ●接合部のカットは正確に行ってください。カットが悪く接合部に隙間が生じるとシーリング剤で接着できず、裏面に浸水する可能性があります。



1-4. 床シートの仮置き

①巻き癖を取る

- 平坦な乾燥した場所に広げてください。
- 冬季や寒冷地など気温の低い条件では、巻き癖が戻るのに時間を要するので、室温を高くするなどの対処が必要です。

△ 注意 ●巻き癖を伸ばして施工を実施してください。巻き癖が浮きや剥がれの原因になります。必ず、巻き癖を取って施工してください。

2 床シートの接着

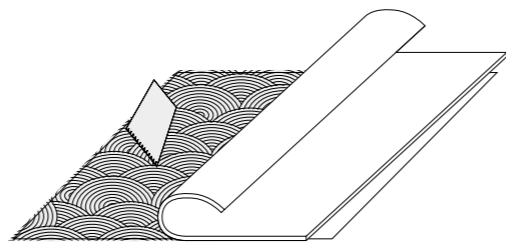
2-1. 床面への接着剤塗布 ※接着作業の際は換気を充分に行ってください。

①接着剤に付属の施工要領をよく読み施工を行ってください。

- 接着剤は推奨接着剤を使用してください。混合比率、オープンタイム、貼付可能時間および塗布量を守って施工してください。

②床全面に接着剤を塗布する。(標準塗布量:400g/m²)

- 付属のくし目ゴテを使用してください。
- タイルの目地に接着剤を埋め込むように波型にくし目を立てながら塗布してください。
- 壁際や排水溝廻りなど塗布不足に注意してください。



△ 注意 ●接着剤を床面に隙間なく塗布したか、確認を行ってください。塗布不足は、床の浮きや剥がれなどの原因になります。

2-2. 貼付可能時間の厳守

- 接着剤を塗布した後に、オープンタイムを取ってから貼り付けを行ってください。
- 施工条件のオープンタイムを目安に(下地の状態、気温、通気等によって異なります)貼り付け開始を確認してください。
- 貼付可能時間(主剤、硬化剤混合後)内に貼り付け作業を終えてください。

△ 注意 ●推奨接着剤は低温時には硬化が著しく遅れます。5℃以下では施工を行わないでください。

2-3. 床面への圧着

①床シートを接着する

- 床シートを接着する際は、シート外周部と壁面部(浴槽)及び排水溝部に所定の隙間があることを確認してください。

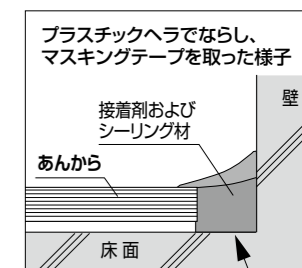
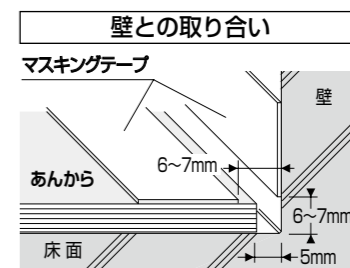
②あんから用見切・あんから用小口隠し見切R取り付け

- シートを圧着する前に見切材の取り付けを行います。シート端部をめくり、取り付けを行う部分の床側に接着剤を線状に塗布してください。
- あんから用見切は図の位置にシーリング材を充填し、シートにくえ込ませ取り付けを行ってください。
- あんから用小口隠し見切Rは床およびシートの接着面の両面に接着剤を塗布してください。

③床シートを圧着する

- 床施工用のローラーもしくは角材にタオルを巻き付けた圧着棒で作業してください。中央部分から壁に向かって、空気を押し出すように圧着します。圧着が不十分の場合、くし目がつぶれず接着不良につながります。十分に圧着するように、注意してください。

△ 注意 ●床シートと壁面(浴槽)および排水溝部等に所定の隙間を空けているか確認してください。
●圧着不足がないか確認してください。
●見切り部分もしっかり圧着してください。
●接着剤がシート表面や床面以外に付着した際にはすみやかに拭き取ってください。硬化後にはとれません。



※充填時、空隙ができないように注意する

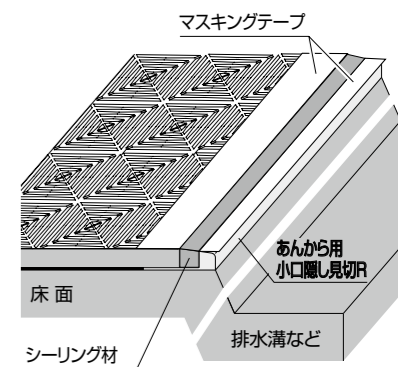
2-4. シート継ぎ目処理・シーリング処理

①シートの継ぎ目処理

- 推奨シーリング剤の施工要領をよく読み施工を行ってください。
- 継ぎ目には隙間が生じないように突きつけてください。その際、きつくならないように注意してください。
- 継ぎ目部分には接着剤やホコリなど、汚れが付かないようにしてください。
- 継ぎ目処理作業が終わったら、シーリング剤が完全に硬化するまで養生してください。

②シーリング処理

- 充填部にゴミやホコリがないことを確認してマスキングを行ってください。
- シートには凹凸がありますのでしっかり圧着してください。
- 壁際や側溝廻りにシーリング材を充填し、隙間の処理を行ってください。
※床シートの端部と壁際にシーリング材を充填する際には空隙ができないように充填してください。
- 気泡が入らないように目地の底部から入念にシーリング材を充填した後に充填部を平滑にならしてください。
- 床面を汚さないようにマスキングを取り除いてください。



△ 注意 ●継ぎ目に隙間が生じないように突きつけてください。隙間があるとうまく接着できずシート裏面に浸水する可能性があります。
●この接着剤充填の作業による仕上げの良否で、全体の仕上がりが大きく変わります。丁寧にかつ綺麗に仕上げてください。
●シーリング材を用意する場合には防カビ剤入り変成シリコン系のシーリング材を使用してください。

3 床面の養生

接着剤が硬化するまで24時間以上養生してください。施工確認後、取扱説明書をお施主様にお渡しください。



本社 / 福井市三十八社町33-66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585

<https://www.fukuvi.co.jp>